

四国歯学会雑誌

第 4 卷 第 1 号

(平成 3 年 6 月 15 日)

SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 4 (JUNE 1991) NUMBER 1

総 説

- 材料の疲労と疲労試験.....有田 憲司, 西野 瑞穂.....1

原 著

- ヒト唾液腺癌細胞の増殖と表現形質に及ぼす弗化ビリミジン化合物の影響.....笠井 康男.....11

- オクルーザルビボット咬合時の下顎変位.....竹内 久裕.....29

- 歯軸に平行な矯正力を加えたときの歯周組織の生体力学に関する研究.....三木 利彦.....51

- 多層断層像重ね合わせ法による頸関節の骨形態,
下顎の位置ならびに骨関節隙の経時的変化の分析.....高木 康里.....63

頸機能異常（頸関節症）症例に対する 6 自由度頸運動測定による診断と移行的咬合治療

- 中野 雅徳, 竹内 久裕, 大井 啓司, 上田龍太郎, 西川 啓介, 池田 隆志,
鈴木 温, 近藤 一雄, 橋川 恵一, 久保 吉廣, 坂東 永一.....87
-

四国歯学会雑誌

第 4 卷 第 2 号

(平成 3 年 12 月 25 日)

SHIKOKU DENTAL RESEARCH

VOLUME 4 (DECEMBER 1991) NUMBER 2

総 説

材料プロセスのシミュレーション

- 金属焼付陶材の残留応力について— 浅岡 憲三, 桑山 則彦 101

原 著

ブタの乳臼歯とその後維永久歯胚およびそれらの周囲組織に関する

- 組織学的研究 森 由香里, 山下 菊治, 都倉 達生, 伊勢 美雪, 西野 瑞穂 113

シンポジウム

- 頸関節症について 坂東 永一 127
いわゆる頸関節症の病理 林 良夫 129
頸関節症：口腔外科学の立場から 中西 淳仁 133
日常臨床における頸関節症の治療 森 直基 145
頸関節症－若年時からの臨床的対応について— 三ヶ井 健 155
頸機能障害と咬合治療 中野 雅徳 165
X線写真から見た頸関節症 細木 秀彦 175

学術講演

- 恐怖症患者に対する歯科治療 中條 信義 187
-

四国歯学会会務報告

◎ 第10回総会報告

1991年7月6日(土)午後12時00分より長井記念ホールで開催。石田理事を議長に選出し、河田照茂会長挨拶に引き続き、下記の報告・協議が行われた。

A. 報告事項

1) 総務報告

- 四国歯学会登録会員数(平成3年6月31日現在)会員総数593(内訳:名誉会員2,一般会員537,学生会員46,賛助会員8)

2) 評議員の異動

辞任: 太田房雄(口腔細菌学講座); 転任

佐藤 誠(予防歯科学講座); 転任

新任: 小野恒子(口腔細菌学講座)

3) 会費徴収の促進について

- a) 郵便振込み用紙を変更(手数料受取人払い)
- b) 同上通信欄に項目を印刷し記入の便を図った
- c) 会誌の年2号発行、シンポジウム開催等、会費の還元となる様な企画を進める。

4) 会則第11条第2項の実施について検討を行う

会則第11条: 評議員

1. 各講座から選出されたもの

2. 会員で理事会の承認を得たもの

(現在、第2項に該当する評議員がないため、今後大学院生、同窓会、歯科医師会等より代表として参加を検討。会長より評議員会に諮問)

5) 事業報告

昨年度: 6月30日 第13回例会、第9回総会

8月26日 夏季学術講演会

12月30日 雑誌第3巻2号発行

B. 協議・承認事項

○ 1990年度決算

収入:	決算高	予算高	増減
縁越金	8,952,658	8,952,658	0
入会金	10,000	40,000	-30,000
年度会費	1,176,000	1,156,000	+20,000
過年度会費	42,000	304,000	-262,000
賛助会費	125,000	250,000	-125,000
論文掲載料	838,950	1,150,000	-311,050
広告掲載料	340,000	400,000	-60,000
雑収入	210,173	20,000	+190,173
計	11,694,781	12,272,658	-577,877

支出:	決算高	予算高	増減
学会開催費	100,000	100,000	0
会誌発刊費	2,555,000	2,666,000	-111,000
通信連絡費	296,656	350,000	-53,344
事務費	108,071	120,000	-11,929
備品費	319,300	500,000	-180,700
名簿作製費	80,340	80,340	0
予備費	0	100,000	-100,000
縁越金	8,235,414	8,356,318	-120,904
計	11,694,781	12,272,658	-577,877

以上について川田雄祥、松本直之両監事の監査報告があり、全会一致で承認された。

○ 1991年度予算

収入:	支出:
縁越金	8,235,414
入会金	500,000
年度会費	2,000,000
過年度会費	350,000
賛助会費	120,000
論文掲載料	100,000
広告掲載料	0
雑収入	600,000
計	200,000
	縁越金
	7,934,414
計	11,104,414

全会一致で承認された。

○ 1991年度事業計画

1. 第14回例会、第10回総会、創立10周年記念シンポジウムおよび10周年記念パーティを7月6日に行う。

2. 夏期講演会は8月25日に徳島県歯科医師会館で中條信義助教授(徳島大学歯学部付属病院歯科麻酔科)を講師として行う。

以上が承認された。

○ 例会、創立10周年記念シンポジウム・10周年記念パーティおよび夏期学術講演会

○ 第14回四国歯学会例会は、1991年7月6日(土)に開催され、別掲のごとく一般演題11題が講演された。

○ 例会、総会に引き続き、創立10周年記念シンポジウムが、別掲のごとく「頸関節症について」をテーマに、6名のシンポジストを迎えて、坂東永一教授の司会により開催された。終了後、青藍会館2Fレストラン・エルボにて10周年記念パーティが開催された。

○ 1991年度夏期学術講演会は、徳島県歯科医師会との共催にて8月25日(日)に徳島県歯科医師会館にて開催され、中條信義助教授(徳島大学歯学部付属病院歯科麻酔科)による「恐怖症患者に対する歯科治療」と題する講演が行われた。

第14回国歯学会例会 記 錄

プログラム
日時 平成3年7月6日(土)(9:00~11:45)
会場 徳島大学長井記念ホール

一般講演

1. インプロテレノールによる耳下腺の増殖機構について

- 河野 美佳, 上野 明道*
- 芦田 嘉之*, 井上 秀夫*

徳島大学歯学部歯科補綴学第一講座
徳島大学歯学部口腔生化学講座*

2. 胎児ラット頭蓋骨由来細胞の増殖・分化に果たすメチルチオアデノシン代謝の役割

- 笠原 信治, 西川 勝二
- 山内 規進, 大石 慶二
- 永田 俊彦, 石田 浩
- 若野 洋一

徳島大学歯学部歯科保存学第二講座

3. *in vitro* での癌細胞の浸潤能に及ぼすメチルチオアデノシン誘導体の影響

- 芦田 嘉之, 木戸 淳一
- 木下 史代*, 井上 秀夫

徳島大学歯学部口腔生化学講座
徳島大学歯学部小児歯科学講座*

4. Apatite 2-piece implant の臨床治験

- 宮本 雅司, 市川 哲雄
- 岡本 康生, 掘内 政信
- 掘坂 寧介, 松本 直之
- 吉田 秀夫*

徳島大学歯学部歯科補綴学第一講座
徳島大学歯学部口腔外科学第二講座*

5. 骨内インプラントを利用した顎顔面補綴

- 久保 吉廣

徳島大学歯学部歯科補綴学第二講座

6. 変形性顎関節症(症形分類Ⅳ型)の補綴治療に関する一考察

- 羽田 勝, 大石 旭
- 松本 直之, 井上三四郎*

徳島大学歯学部歯科補綴学第一講座
徳島県歯科医師会*

7. 本学部卒業生の動向について

- 薦田 淳司, 棚原 啓之

徳島大学歯学部同窓会

8. 覆蓋法の適応範囲の拡大に関する臨床的検討

- 松尾 敬志, 中西 正
- 片岡 健哉, 尾崎 和美
- 野村由一郎, 大木元玲子
- 中江 英明, 吉山 昌宏
- 恵比須繁之

徳島大学歯学部歯科保存学第一講座

9. 歯周治療前後における歯肉溝滲出液中のホスホリバーゼA₂(PLA₂)活性の変動とラット歯肉線維芽細胞に対するインターロイキン-1 β によるPLA₂誘導

- 榎原 啓之, 天部由香里
- 永田 俊彦, 石田 浩
- 若野 洋一

徳島大学歯学部歯科保存学第二講座

10. ヒト口唇粘膜メラノサイトの分布とその加齢及び性別変化

- 三橋由利子, ○出口博代
- 林 良夫

徳島大学歯学部口腔病理学講座

11. 全骨髓細胞を用いた骨吸収評価系に関する研究

- 石川 啓司, 上岡 寛
- 新居 泰浩, 楠田 優紀
- 日浦 賢治, 住谷 光治
- 河田 照茂

徳島大学歯学部歯科矯正学講座